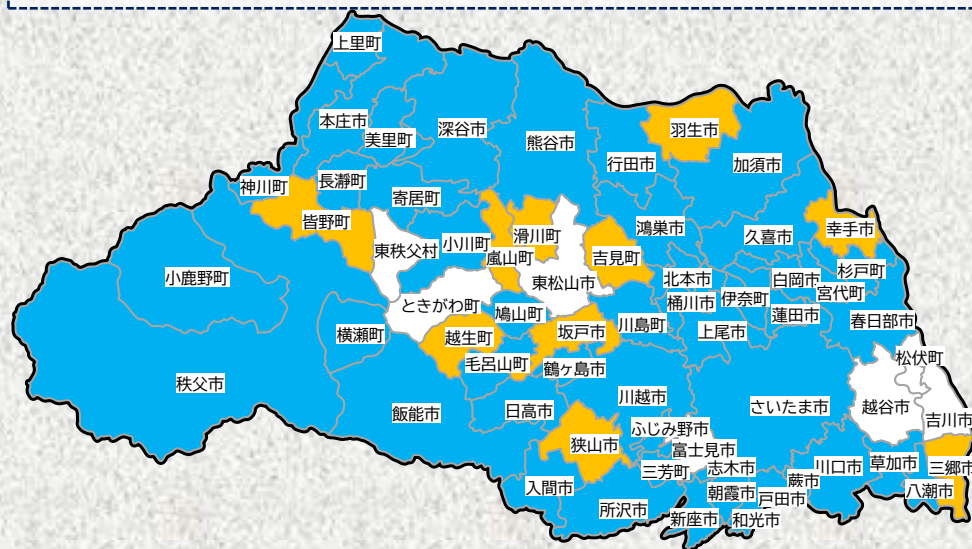


■ エントリー済み **46** 団体 + ■ R6新規エントリー **10** 団体 ⇒ プロジェクトに取り組む
 令和3年度 11団体 狭山市、羽生市、三郷市、坂戸市
 令和4年度 18団体 幸手市、越生町、滑川町、嵐山町
 令和5年度 17団体 吉見町、皆野町
 市町村 合計 **56** 団体



未エントリー市町村もプロジェクトに取り組む意向を示しており、早期に全市町村のエントリーを目指す。

▶ 持続可能なまちづくりを全県で進めていく

令和6年度新規エントリー10団体の取組傾向

➤ 新規エントリー10団体の半数を超える団体が共通して掲げている取組は以下の4つ。

要素	取組	10団体の取組割合	取組団体数
コンパクト	施設の複合化・拠点化	80%	8
	空き家・空き店舗の活用	70%	7
スマート	利便性の高いモビリティサービス	60%	6
レジリエント	再エネ導入等による災害時電源確保	100%	10

全エントリー56団体の取組傾向

➤ エントリー56団体の半数を超える団体が共通して掲げている取組は以下の4つ

要素	取組	56団体の取組割合	取組団体数
コンパクト	施設の複合化・拠点化	71%	40
	公共空間活用による賑わい創出	57%	32
スマート	利便性の高いモビリティサービス	70%	39
レジリエント	再エネ導入等による災害時電源確保	100%	56

令和6年度新規エントリー10団体の特徴的な取組①

狭山市 狭山市版スーパー・シティプロジェクト

➤ 狭山市駅周辺の魅力向上

狭山市駅を中心としたエリアの賑わい創出と土地利用の推進による魅力と利便性の向上



狭山市駅周辺

コンパクト

坂戸市 多世代が暮らし続けられるコンパクトなまちづくり

➤ 多世代交流拠点等の都市機能の集約

北坂戸地区において民間活力を導入した多世代交流拠点や都市公園を整備し、都市機能を集約



多世代交流拠点イメージ

コンパクト

羽生市 羽生市版スーパー・シティプロジェクト

➤ 羽生駅周辺の活性化

公共施設の複合化や空き家や空き店舗等の活用による羽生駅周辺の活性化



空き店舗を活用した活動拠点「MD Library」

コンパクト

幸手市 幸手市版スーパー・シティプロジェクト

➤ 持続可能な公共交通ネットワークの確保

企業通勤バスとコミュニティバスの連携やデジタル技術の活用によるコンパクト・プラス・ネットワークの推進



幸手市循環バス

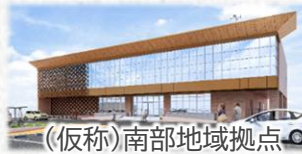
コンパクト

スマート

三郷市 ふるさと三郷みんながほほえむまちづくり

➤ 魅力あるコミュニティ拠点の形成

官民連携による防災機能を有した魅力あるコミュニティ拠点の形成による交流促進及び地域防災力の強化



（仮称）南部地域拠点
防災コミュニティ施設

コンパクト レジリエント

令和6年度新規エントリー10団体の特徴的な取組②

越生町 みどりとせせらぎのまち 越生

コンパクト

- 健康・生きがい・賑わいが歩いて繋がるまち
「道灌おもてなしプラザ」等を拠点とした町内の周遊促進による賑わい創出と健康増進



道灌おもてなしプラザ
【越生駅西口総合案内所】

吉見町 未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまちよしみ

コンパクト

- 道の駅を中心としたにぎわいの創出
道の駅周辺へ都市機能を集約させるとともに、農業・商業・観光振興等の機能を拡充、地域のつながりを強化する拠点の形成



道の駅
いちごの里よしみ

滑川町 住んでよかった 生まれてよかった まちへ 住まいるタウン滑川

レジリエント

- 移動販売車による地域交流の場の創出
官民連携による移動販売を通じて、地域交流の場を創出することで住民同士の支え合いによる地域づくりを推進



移動販売の様子

皆野町 活動拠点「みなのんち」を中心としたコミュニティ 活性化とICT活用による便利なまちづくり

コンパクト スマート

- 「みなのんち」を中心とした産官学連携
企業等と連携した中心市街地の賑わい創出や地域おこし協力隊による住民や事業者等への支援による地域DXの推進



活動拠点「みなのんち」

嵐山町 暮らしの中に幸せを感じられる瞬間を

コンパクト

- 学校再編や学校跡地の活用
小中学校を既存小学校敷地に再編統合し、小中一貫教育の推進とともに、学校跡地活用を町民ワークショップ等により検討



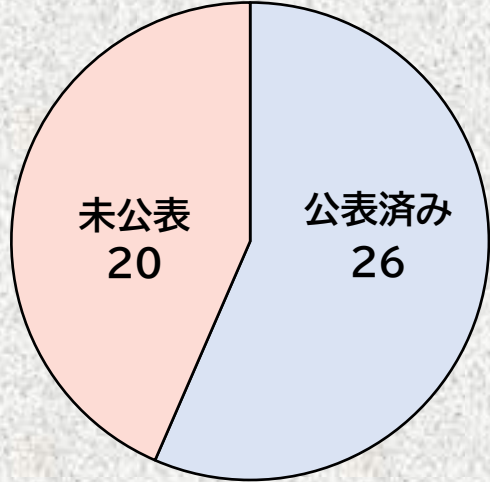
学校再編後のイメージ図

既エントリー46団体の取組の進捗状況



地域まちづくり計画とは
エントリーシートに記載したコンセプトに基づくまちづくりについて、具体的に事業に着手することを対外的に示し、関係機関と協働してまちづくりを推進することを目的として公表するもの。

【地域まちづくり計画公表状況】



公表時期		団体数	団体名
公表済み	令和4年度 公表	8	さいたま市,熊谷市,秩父市,和光市,久喜市, 毛呂山町,小川町,横瀬町
	令和5年度 公表	11	深谷市,草加市,入間市,朝霞市,北本市,ふじみ野市, 白岡市,鳩山町,神川町,宮代町,杉戸町
	令和6年度 公表	7	所沢市,上尾市,戸田市,志木市,桶川市,三芳町, 美里町
団体数合計		26	

既エントリー団体の主な取組紹介

久喜市

BRIDGE LIFE Platform構想 ～南栗橋8丁目周辺地区のまちづくり～

- 市、東武鉄道(株)、トヨタホーム(株)、イオンリテール(株)、早稲田大学大学院 小野田研究室が共同で次世代型のまちづくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform構想」を推進している。
- 全172戸の戸建住宅の建築に合わせ、商業施設や保育園、高齢者福祉施設などを誘致するとともに、既存の遊歩道及び公園を改修することで、あらゆる世代が暮らしやすく、徒歩圏内で生活が完結するコンパクトなまちづくりを実現している。

コンパクト

- 商業施設、保育園、福祉施設といった様々なサービスを徒歩圏に集積。
- 既存遊歩道及び公園の改修により、居心地が良く、歩きやすくなる街並み形成。

スマート

- 自動配送ロボットや一人乗りモビリティなど、日常生活の利便性向上に資する次世代モビリティの走行実験中。

レジリエント

- 太陽光発電パネルやEVからの非常時給電システム等を備えた、全172戸のZEHの建築による戸建街区の形成。



杉戸町

東武動物公園駅東口通り線周辺まちづくり ～ 圧倒的ホームタウン ～

- 県と町による道路整備、町による学校跡地を活用したココティすぎと(複合施設と広場)の整備、県による水辺整備を実施している。
- ココティすぎとを核とし、県事業との連携や講座・イベント・交流の場を提供する民間のコミュニティ拠点の整備が同時期に行われ、エリア全体の価値を創出し、まちの多様なプレイヤーによる新たな空間活用が始まっている。

コンパクト

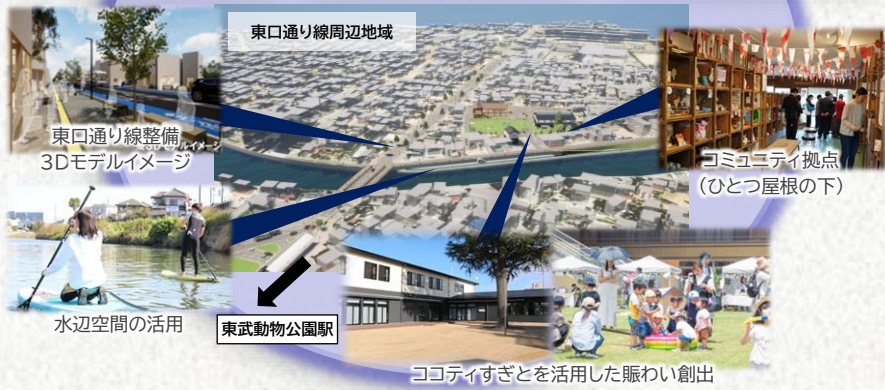
- 【県事業】東武動物公園駅東口通り線、大落古利根川の整備。
- 【町事業】ココティすぎとの整備による町の魅力向上。

スマート

- 3Dモデルを活用し、まちの将来像、人や交通の動きを可視化することで、住民のまちづくりへの参加を促し、コンパクトなまちづくりに寄与。

レジリエント

- 東口通り線の無電柱化により災害時でも途絶えない電気通信機能等の確保。
- 複合施設への太陽光発電及び蓄電池の設置。



主な支援内容①（令和6年度）

部局横断による人的・財政的・技術的な支援と企業等とのマッチング支援に加え、プロジェクトを加速させる市町村支援や市町村と連携した県事業の実施により、市町村の持続可能なまちづくりを支援

人的支援

- ・**ワンストップ窓口**（エネルギー環境課）が一括して市町村の相談に対応
- ・プロジェクトにエントリーした市町村ごとに県関係課で構成する**市町村事業化支援チーム**によるプロジェクトの具体化支援（14部局56課）

財政支援

- ・**プロジェクト推進補助金**による財政支援　＜活用市町村＞令和4年度：3市町、令和5年度：11市町、令和6年度：19市町（予定）

（1）事業化検討補助

まちづくりの事業化に向けた検討費用
補助率 1/2　補助上限 500万円

＜活用事例＞（宮代町）

住民参加のワークショップやシンポジウム等の開催により、エリアの整備方針について検討



（2）事業推進補助

まちづくりに関するソフト・ハード事業
補助率 1/2　補助上限 5,000万円

＜活用事例＞（小川町）

学校跡地に必要な都市機能等を集約し、地域住民が集う拠点として活用するためのインフラ整備工事等を実施



主な支援内容②（令和6年度）

技術支援

- **市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援**（24市町村53回（R6.12月末時点））
ウォーカブルなまちづくりや市街地開発事業などの都市整備手法に関する技術面での助言・提案を実施
- **先行事例の研修会**（3回述べ268人（R6.12月末時点））
市町村の担当者向けに全国の先行事例を通して、まちづくりの手法等を学ぶ研修会を開催



オンラインによる市町村個別相談

企業等とのマッチング支援

- **応援企業等登録制度**（R6.12月末時点登録数：187団体）
市町村と連携・協働してまちづくりを推進する意思がある企業・団体を登録し、県が市町村とのマッチングを実施
- **市町村と企業等との交流会**（R6：計3回開催、延べ158人参加）
県が主催の交流会でマッチングを促進
- **ガバメントピッチ**の開催（R6.8.20,21開催、提案数：90件、マッチング協議中：23件）
市町村が抱える課題について、企業等が解決策を提案するガバメントピッチを開催し、両者のマッチングを強化（R5開催分マッチング実績：8件（R6.12月末時点））

• まちづくり先行事例セミナー

（R7.1.23『彩の国ビジネスアリーナ2025』にて開催）

- 先行して取り組む市町村と企業等との協働事例の紹介
- エントリー団体のうち5市町（行田市、秩父市、本庄市、毛呂山町、小鹿野町）と合同でプロジェクト紹介ブースを出展



市町村と企業等との交流会



まちづくり先行事例セミナー

主な支援内容③（令和6年度）

プロジェクトを加速させる市町村支援

- ・持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の取組への支援強化
- ・認知症高齢者グループホーム等の整備促進
- ・こどもの居場所に機能を追加した新たなこども支援活動拠点の整備促進
- ・商店街の空き店舗活用促進
- ・空き家バンクを通じた空き家利活用促進



自動運転バスの社会実証走行（和光市）

市町村事業と連携して実施する県事業

- ・賑わいのあるまちづくりやスマート交通システムを支援する県道整備（所沢市、本庄市、和光市、杉戸町）
- ・水辺deベンチャーチャレンジによる水辺整備の推進（小川町、杉戸町）
- ・河川の調節池を利用した再生可能エネルギー活用支援（久喜市）
- ・県有施設への再生可能エネルギー導入の推進（川島町）



大落古利根川の水辺整備（イメージ）